



東京湾再生官民連携フォーラム

東京湾再生官民連携フォーラム

平成29年度事業計画

平成29年3月
東京湾再生官民連携フォーラム

東京湾再生官民連携フォーラム
H28～H30 事業計画、平成 29 年度事業計画

H28～H30 事業計画

◆申請活動実施概要

I.中長期計画（H28～H30）

東京湾再生官民連携フォーラム（以下、「フォーラム」と言います。）は、「東京湾の再生のための行動計画（第二期）」（以下、「第二期計画」と言います）の内容を着実にさらに進めるため、H25年～H27年の実績のもとに、H28年から3年計画で以下の柱の活動を計画します。

今後3年間の目標は、東京湾再生の再認識・意識を高めるためのフォーラム活動の飛躍と加速（生活者、湾岸住民に対して、さまざまな分野における東京湾への興味・関心を引き、意識変革を起こす活動を実施し、東京湾再生・環境への意識共有の輪を広げる）を図ります。

≪目標実現のためのポイント≫

1. 平成 29 年度はフォーラムの成長期と位置づけての、2 年目となります。引き続き自立に向けた検討、取り組みの検討を進めます。（フォーラム法人化検討委員会：法人化の検討、資金の確保の検討、関係パートナーの構築、組織営業、組織形態の整備など）

フォーラム法人化検討委員会の設置

■設置の位置づけ

- ・平成 28 年 10 月 22 日（土）第 1 回目を開催し、議論の方向性を確認しながらスタート。第 2 回目の検討会を 3 月 14 日（金）に開催する予定です。
 - ・定例会の実施予定：企画運営委員会同日会合(年 4 回程度の予定)
 - ・メンバー構成：来生委員長、官側、民間側、支援団体組織、事務局
- ※テーマ検討：都度、情報収集など行い検討委員会を実施します。

■1 年目 テーマ設定の元、情報収集、事例研究を中心に幅広く議論し、認識を高める。

（法人化に向けた課題の抽出と目標の設定/具体的事例研究及び実務シミュレーション作業、法人化構想案の作成）

- ・検討に当たっての前提としては、現状の法体系、仕組み、ルールの中で検討
- ・事例および課題の整理
- ・資金源の検討など(会費、事業収益など)

■平成 29 年度・2 年目：<中間報告>

（法人化に向けた目標の設定/具体的事例研究及び実務シミュレーション作業、法人化構想案の作成）

- ・資金源の強化の検討など(会費、事業収益など)

- ・アライアンスパートナーの方策検討

■平成 30 年度・3 年目：<検討結果報告> 事務手続き（企画運営委員会/総会 審議承認）

- ・資金源の確保、開発・維持強化(会費、事業収益など)

- ・組織営業の強化・組織形態の整備

- ・関係スキームの強化（アライアンスの検討・実行など）

2. 政策提案の面的広がり活動

1) 政策提案の増加（累計目標 5～7 件）

平成 28 年度政策提案：東京湾パブリック・アクセス方策検討 PT が中心となり、東京湾パブリックアクセス方策に関する第一次政策提案をフォーラム総会で承認（平成 29 年 3 月東京湾再生推進会議へ手交予定）

平成 29 年度予定：東京湾での海水浴復活の方策検討 P T

それぞれの特徴を活かした PT 活動の連携（情報交換）

①調査研究傾向型 P T と②実行・実践傾向型 P T と③両面性型 P T の 3 つの傾向があります。

「調査研究傾向型 P T」

生き物生息場づくり PT、指標活用 PT、モニタリング推進 PT、東京湾の窓 P T

「実行・実践傾向型 P T」

東京湾大感謝祭 P T、

「両面性型 P T」

PT 江戸前ブランド育成 PT、東京湾での海水浴復活の方策検討 PT、東京湾浅瀬再生実験 P T、

- ・累計 3 件の政策提案のフォロー・サポート支援

- ・情報交換を主とした PT 長会議の実施（年 1 回）

2) 「東京湾の再生のための行動計画（第二期）」中間成果報告の評価

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」が平成 25 年の策定から 4 年目を迎えたことから、現在、東京湾再生推進会議において、これまでの施策実施状況のとりまとめと、その評価に取り組まれています。その評価には、東京湾再生官民連携フォーラムの設立の報告や、フォーラムからの政策提案の実施状況などの評価が盛り込まれる予定です。

3. 影響力を高め飛躍するための組織力の強化（情報交流・PT 同士など組織体の交流の実施。海域から陸域までの拡充、交流団体目標（100 団体）平成 28 年度は企業 30 社、NPO 諸団体 30 社目標）

平成 29 年度は、交流会を 2 回実施するとともに、東京湾大感謝祭 2017 においても交流輪を広げる企画の実施検討予定。

海域の活動団体・組織が現在中心ですが、陸域で活動している団体へも交流機会を増やしていく計画です。また、消費材メーカーや商業・生活サービス企業についても今後、認知していただくよう広報活動を強化します。

4. 活動反響効果を高めます。東京湾を意識する量的活動に加え、質的活動の実施により情報共有から意識共有を図ります。引き続き東京湾-News Letter として、外部への影響力を高め、会員、P T 同志の交流促進を図ります。

情報提供量の拡大（ニュースリリース、HP の拡充、各 PT 活動の広報実施活動などコミュニケーション

ョン力を高めた会員の拡充、東京湾への都民、首都圏域生活者の「東京湾再生・魅力」ファン創り、事例作りの実施など)

東京湾再生アンバサダーの活躍の拡大

平成 28 年 3 月に東京湾再生アンバサダーが誕生し、東京湾大感謝祭 2016 の広報や、東京湾の環境再生について、新聞、雑誌、TV等を通じてPRをして頂きました。平成 29 年度は、更に多くの方々に東京湾再生の取り組みを知っていただくために、機会あるごとにアンバサダーによる情報発信をお願いします。

- ・東京湾大感謝祭におけるプレゼンテーション
- ・テレビ、ラジオなどメディアに取り上げられる機会の増加

○東京湾再生アンバサダー

1. 榎 太一 氏 (日本テレビアナウンサー)
2. ガリガリ君 (赤城乳業株式会社 キャラクター)

5. 東京湾の環境活動&魅力向上活動 (各 PT 活動の強化)

- ・首都圏にふさわしい東京湾の創出 (アクセスPT活動などにより、容易に海に近づくことができ、親しむことができる湾の創出活動。環境観光&産業・スポーツなどの側面を検討していきます)
- ・東京湾の環境再生に係る情報収集を実施し、東京湾イベントカレンダーによる情報提供活動などを実施
- ・江戸前の具体化 (環境をトラッキングできる魚種を選定して、今の旬を探る活動の実施と共に、日本の食文化=江戸前文化を取り上げ調査研究の実施。また、旬な魚介の情報などの提供を実施)

<実施概要>

●PTチームの活動強化

- ・平成 29 年度は「東京湾浅瀬再生実験PT」、「東京湾の窓PT」が本格的な活動を開始。
- ・PT 長交代によりさらに充実した江戸前 PT 活動。文化・食・歴史など多様な人材の取り込みを検討・実施いたします。

●交流・連携活動

- ・広報・情報交流のためのPTの連携を進めます。連携チーム編成 (横展開)、展示会やイベントなどへの出展活動の実施など (具体的には、関連シンポジウム、セミナーなどへの後援の実施)
- ・東京湾環境活動の強化：東京湾エコプログラムの開発・検討 (誰でもがウェブなどから東京湾再生の知識が身につく簡単ツールの提供)

●情報の (提供・仲介) 受発信・交流 (広報)

- ・都内・首都圏域における啓発活動の実施。フォーラム企画展、フェス、シンポジウムなどの開催・実施。(又は感謝祭でのフォーラム企画展の実施、他のイベント・展示会などへの出展活動など)
- ・実現した政策提案の裾野を広げます。(興味関心ごとを引くニュース性のアップなど)
- ・交流会・活動事例の強化を図ります。
- ・会員活動を区分し応援共有していただくファンづくりにトライいたします。例えば、東京湾ファン

クラブなどの名称による意識向上を図り、東京湾・江戸前の認識を高めます。

平成 29 年度事業計画

Ⅱ. 平成 29 年度の活動内容

平成 29 年度は以下の活動を行います。

《活動内容》

1. 情報（提供・仲介）の受発信・交流（広報）

1) 情報発信の基盤として構築したフォーラム専用のホームページ（以下、「HP」と言います。）を継続運用し、全体的な活動内容の情報発信を行います。引き続きフォーラム活動のNEWSとして活動経過を順次掲載します。さらに企画運営委員会の議事概要、フォーラムの事業報告・活動経過を情報提供していきます。

2) 東京湾再生に係る官民連携の協働活動を推進するプロジェクトチーム（以下、「PT」と言います。）の情報強化を行いHPでは、この活動情報を随時公開していきます。これらのPT活動をわかりやすく皆様に伝えるニュースなどを紹介します。

なお、現在設置されている9つのPTは、次のとおりです。①生き物生息場づくりPT、②指標活用PT、③モニタリング推進PT、④東京湾大感謝祭PT、⑤江戸前ブランド育成PT、⑥東京湾パブリック・アクセス方策検討PT、⑦東京湾での海水浴復活の方策検討PT、⑧東京湾浅瀬再生実験PT、⑨東京湾の窓PT。

3) HPでは入会案内を設定しており、引き続きフォーラム会員の応募があった団体・個人の登録受付を行い、会員管理を実施。都度ごとに会員へのメール配信を実施。現在会員は個人290名、団体会員114組織になり、会員は継続して募集し、目標増として、引き続き個人500名の加入、150組織の加入を目指します。また、PT会員などへの参加も必要時に募集対応していきます。

4) HPへのアクセス数の充実

東京湾大感謝祭と共にフォーラム活動の認知をさらに広げるための活動を実施いたします。

FaceBookの活用など幅広いウェブコミュニケーション活動を実施、現在進めている交流活動につなげていきます。

5) フォーラム活動の幅広い認知を図るため各種イベントや展示会への参加を行います。最初は、首都圏自治体などが開催している港まつりなどへの協力関係、人的つながりを図り、東京湾に面した自治体への協力とともに展示参加を進めます。

6) 東京湾沿岸域のイベント情報の発信

東京湾大感謝祭の活動を点の活動から面の活動を心掛けていきます。東京湾への関心を高めるため、東京湾沿岸域のイベント、フェアとの連携を模索していきます。具体的には、相互での告知活動やフォーラムロゴを使用した連携を図ります。また、フォーラム会員が主催する東京湾での活動やイベントなどをフォーラムHPで紹介していきます。

・東京湾沿岸域のイベント、フェアとの連携

イベント情報一覧表を作成し、ウェブ上での公開を図り、平成28年度に引き続きさまざまな方にフォーラム活動を周知いたします。

2.個別政策への取り組み（交流・連携活動）

●交流・連携活動

1) CSR-NPOの交流会の実施

年2回の開催。平成28年度の実績を踏まえ、参加組織・団体、企業の相互の事業を紹介し合うことで、それぞれの組織が抱えている課題解決の意図口となる場を提供します。

平成29年度は、NPO、任意団体の相互の異業種交流、企業とNPO・任意組織団体との交流や山から海に至る循環を意識した交流を図ります。

・平成29年度は7月、11月実施予定。

■平成29年度第1回交流会、■平成29年度第2回交流会

<開催日予定>

○第1回交流会開催日時：平成29年7月20日(木)13:00~16:30

○第2回交流会開催日時：平成29年11月16日(木)13:00~16:30

<開催共通項目>

(1)開催場所：東京都千代田区麴町5-1 弘済会館（予定）

(2)参加目標：フォーラム会員 + 非会員：企業30団体、NPO等30団体

(3)参加費：500円/人（会場費、資料代、お茶代）

(4)交流会プログラム予定

- ・テーマ：異業種交流からの連携交流（仮称）
- ・開催挨拶
- ・講演－1 マッチング事例（企業）
- ・講演－2 マッチング事例（NPO）
- ・交流会：参加企業、参加NPO等交流（企業・NPO等情報交換相手を随時交代）
- ・質疑応答
- ・閉会挨拶

平成28年度の実績と反省点などを含めて交流会を見直しスタートします。

- ・交流会でのマッチング事例づくりの実施(交流会のフォロー作業の実施)
- ・交流会でのマッチング方法の検討（参加組織のポスターセッション枠の提供など）
- ・NPO同志、企業などを結び付ける一次情報（団体概要、連絡先など）の集約を行い、必要時への有効情報の提供を実施していきます。
- ・交流会の促進ツールとして、ウェブを活用して、各種団体の交流チャンスを増やすとともに、具体的に組織が抱える取組などの情報提供を企業、各組織団体など広めていきます。交流会での発表内容・取組事例などを継続的にウェブサイトに掲載します。交流を求める団体情報を募集し、情報量を増やしていきます。

2) 施設見学会の実施

環境改善や環境再生に寄与する施設を見学し、東京湾再生のためのノウハウの共有、改善方策検討の参考として頂くと共に、沿岸の公共施設の管理や公共プロジェクト事業へNPO等が協働参加している事例を実際に見聞し、東京湾の環境再生への市民参加の参考事例研究の場を提供します。平成

29年度は9月実施予定。

見学対象施設候補（案）

<民間施設候補>

- ・新日鐵住金海域環境シミュレーション施設（千葉県富津市）
循環型社会構築への貢献（ゼロエミッション、鉄を利用した海の森づくり）

<行政施設候補>

- ・千葉県生物多様性センター生態園（千葉県立中央博物館：千葉市中央区）
ビオトープの整備や維持管理に関する講座および生態圏実地見学による自然環境の紹介

<行政施設：管理委託候補>

- ・ふなばし三番瀬海浜公園及び谷津干潟自然観察センター（千葉県船橋市、習志野市）
三番瀬見学および自然生態観察（野鳥）

（対象・参加費など）

- ・参加者はフォーラム会員を対象に募集
- ・参加費 500円（資料、交通費など）

●他団体との連携

引き続き国連生物多様性10年日本委員会などへの協力をはじめ、各組織団体と連携したフォーラム活動を推進し、環境、生き物といった地球環境全体の取り組みを図っていきます。

●後援・協賛の受付

平成28年度は3件のシンポジウムなどの後援を実施しました。平成29年度は、PTを中心とした活動への後援を強化いたします。

●東京湾沿岸域のイベント情報発信

東京湾大感謝祭の活動を点の活動から面的活動を心掛けていきます。東京湾への関心を高めるため、東京湾沿岸域のイベント、フェアとの連携を模索していきます。具体的には、相互での告知活動やフォーラムロゴを使用した連携を図ります。

●江戸前ブランドの情報発信

東京湾に生息する魚の種類は760種類に上ります。中でも、私たちが江戸前として、周知しているのは、あなご、あさりの貝類などわずかです。この江戸前の魚介類調査（魚種、漁獲高、地域等）を基にした新しい江戸前の在り方、外来種ホンビノス貝なども含めて検討し、江戸前の食を魚介類から探訪していきます。江戸前PTの活動を広報の面からサポートしていきます。

これらの活動を通して、江戸前ブランドの向上・普及と東京湾の魚介類の地産地消を図るとともに、東京湾再生や環境への関心を高めていきます。

●調査研究（PTサポート）

それぞれのPT活動を支援し、主に現場や実証作業、ワーキングなど具体的活動の充実を図っていきます。現在、指標活用PT、生き物生息場づくりPT、東京湾パブリック・アクセス方策検討PT、「累計3件の政策提案を実施し、これらの提案に伴った継続したPTフォロー活動も実施されています。それらのサポートを行っていきます。

「海水浴復活方策検討PT」では、東京都港湾局、江戸川区、港区、大田区など、行政との連携を図り、より現実に即した、東京湾の内湾での海水浴復活について検討するなど、また、東京都以

外の自治体への海水浴場の実態及び規制等についてのヒアリングを行っており、具体的調査研究を実施し、結果報告を見込んでいます。

「東京湾パブリック・アクセス方策検討PT」では、平成28年度に政策提案「東京湾パブリックアクセス方策に関する第一次政策提案」を行い、提案のフォローさらには、二次提案に向けた準備を開始しています。

「江戸前ブランド育成PT」は、PT長の交代を実施し、平成28年度の東京湾大感謝祭から新しいPT長の元、より活発な活動が始まりました。

新しく発足しました「東京湾浅瀬再生実験PT」、「東京湾の窓PT」は、それぞれ3回のPT会議が実施され、ミッション遂行に向けた活動が本格化しています。

●相談窓口（コンサルティング）

- ①連携・調整の活動で具体化された相談受付をウェブや会員とコミュニケーションし、実施していきます。
- ②PT活動における多様な主体との相談、調整等を行います。

●啓発・人材育成

各PTの啓発・人事育成サポートの実施に取り組みます。

3. 統一テーマでの活動

1) フォーラムは、東京湾大感謝祭（以下、「大感謝祭」と言います。）を、東京湾再生活動の広報活動の一環としてサポートしていきます。

- ・NPOなど関連団体の参加をより多くした交流の輪を広げる活動
- ・生活者、消費者が東京湾を気付き、意識してもらえる取組活動
- ・9つあるPTの活動の発表の場として、日頃の活動をPRするサポートの実施などが主眼となります

「東京湾大感謝祭PT」は平成27年度より「東京湾大感謝祭実行委員会」をスタートさせた組織はより自主性のある活動と組織化による作業チームの分担体制ができました。平成29年度は、実行委員メンバーの入れ替えが行われ、それぞれ東京湾の再生や環境活動、海、水に取り組む関係者が集まり強化されています。

「東京湾大感謝祭」は、平成29年度も引き続き横浜・赤レンガにての開催を予定しています。

プログラムは、平素のフォーラム活動、PT活動における成果発表の場となり、東京湾再生への全体活動の普及・啓発を意図しています。参加型のプログラムの検討やフォーラム事務局での感謝祭企画展示などを検討していきます。

赤レンガ倉庫のホールにおいては、市民団体、行政、企業等による東京湾に関する各種歴史・文化展示、東京湾の環境再生への取り組みパネル展示や実際の触れ合いや観察など、体験作成（海藻おしぼ）できるワークショップを実施いたします。

平成29年度の入場者目標は9万8,000人(昨年実績)人を設定しています。東京湾再生への関心を高める生き物や環境全体への関心を高めることで、東京湾からの恵みの重要性を認識いただき、

自分たちにとり、東京湾の重要性と多様性を認識する機会を提供し、フォーラム活動の意味を理解していただける組織・団体、個人の方々等、一人でも多くの賛同者を増やし、東京湾再生の輪を広げていきます。

本祭で実施されるコンテンツ企画は、親子で楽しむことができるようファミリー層へのアプローチが行われています。また横浜で4年目を迎え、地元の企業、行政への認知が促進されています。今後、ますます交流の場としての活用が期待できます。

なお、東京湾大感謝祭の過去4回の開催による来場者数は、延べ約269,000人となりました。平成29年度の開催により、東京湾流域人口約30,000,000人の1%の人々（延べ人数）が感謝祭に来場されることを目指します。これにより、東京湾流域人口の東京湾への関心の拡大につなげます。

2) 表彰制度の検討

豊で美しい東京湾の再生を目指し多様な主体で取り組まれている活動の中から、その活動が顕著であることが認められる活動を表彰するとともに、その活動内容を広く一般に紹介することにより、より多くの人々に東京湾に関心を持って頂く事、東京湾の再生活動に参加していただくことを目的として、表彰制度の検討を行います。

4.政策提案

上記Ⅰ. からⅢ. の活動により得られた東京湾再生への成果、課題等を取りまとめ、東京湾再生推進会議へ、具体的な取組や改善策等の提案を目指します。

平成29年度は、東京湾再生のための行動計画（第二期）へ寄与するため質・量ともに向上した政策提案ができるようにPT会合や企画運営委員会での審議の深化を心がけます。

申請活動概要 II		
申請活動実施スケジュール	2017年 4月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会広報・参加団体募集 東京湾大感謝祭参加企業募集 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整) 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 5月	H29 第1回企画運営委員会開催 東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会広報・参加団体募集 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整) 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 6月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会参加団体情報取りまとめ 東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整) 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 7月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング&交流会開催(企業・NPO) 東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整) H29 第2回企画運営委員会開催 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 8月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会フォローアップ モニタリングPT支援(東京湾一斉調査) 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラム及び東京湾大感謝祭チラシ、ポスター作成配布など 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 9月	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整) 東京湾再生官民連携フォーラム・総会支援 東京湾再生官民連携フォーラムマッチング情報募集・公開 H29 第3回企画運営委員会開催 東京湾再生官民連携フォーラム企業・行政等施設見学会 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年10月	東京湾大感謝祭参画支援(イベント企画調整) 東京湾再生官民連携フォーラム 第5回通常総会 東京湾大感謝祭開催 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会広報・参加団体募集 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 11月	東京湾再生官民連携フォーラム東京湾大感謝祭報告書作成 東京湾再生官民連携フォーラム大感謝祭来場者へのアンケート調査実施集計 東京湾再生官民連携フォーラムマッチング&交流会開催(企業・NPO) 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2017年 12月	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2018年 1月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング交流会フォローアップ 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2018年 2月	東京湾再生官民連携フォーラムマッチング情報募集・公開 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2018年 3月	H29 第4回企画運営委員会開催 東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 東京湾再生官民連携フォーラムマッチング情報募集・公開 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)

平成29年度予算

2017/5/11

【収入の部】

(単位:円)

科 目	H28年度決算	H29年度予算	備 考
(1) 寄付金収入	111,472	100,000	
(2) 助成金収入	4,000,000	4,500,000	セブンスイレブン記念財団他
(3) 雑収入	31,534	0	
普通利息	14	0	
その他	31,520	0	
(A) 単年度収入合計	4,143,006	4,600,000	
(B) 前年度繰越金	83,549	4,402	
(C) 収入合計 =(A)+(B)	4,226,555	4,604,402	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	H28年度決算	H29年度予算	備 考
(1) 事務局経費	3,257,321	3,221,888	
1) 事務局人件費	2,701,156	2,748,120	給与、通勤費等
2) 事務局運営費	556,165	473,768	HP管理・更新、通信費
(2) フォーラム事業費	964,832	1,378,112	企画運営委員会会場費借り上げ費、フォーラム総会会場借り上げ費、フォーラム交流会会場借り上げ費、広報宣伝費等
(D) 単年度支出計	4,222,153	4,600,000	
(E) 単年度収支差額 =(A)-(D)	-79,147	0	
(F) 次年度繰越金=(C)-(D)	4,402	4,402	